

1) 令和4年度事業の概要

野中正法¹

1. 総合研究センターの概要

財団法人海洋博覧会記念公園管理財団（1975年7月設立）は、公益法人制度改革により2012年10月に一般財団法人に移行、団体名も「沖縄美ら島財団」と変更された。

沖縄美ら島財団は、経営理念を「美らなる島の輝きを御万人へ」としており、調査研究・技術開発・普及啓発を総合的に進めるため、一般財団以降以前の2008年12月に総合研究センターを設置している。

組織は、センター長、統括、普及開発課、動物研究室、植物研究室、琉球文化財研究室、美ら島自然学校で構成され、調査員33名の体制である。また、3名の財団参与、及び15名の外部研究顧問からのご指導のもと、調査研究、普及事業を展開している。

総合研究センターの目的として以下を掲げている。

- ・ 地球温暖化、生態系の危機等、様々な環境問題への対応
- ・ 沖縄の自然環境、歴史的風致を活かした観光や産業の振興
- ・ 地域との連携、公園利用ニーズの多様化等に対応した公園の管理運営
- ・ 財団の財政基盤強化に寄与する課題への取り組み

2. 調査研究・技術開発事業

上記目的を達成するため、令和4年度に取り組んだ主な事業を以下に記す。

動物研究室では、地元ホエールウォッチング業者や行政と連携し、観光資源としてのザトウクジラの持続的利用を目的とした、新たなルール作りに着手した。植物研究室におけるアカギヒメヨコバイの防除試験では、樹幹注入剤1種、散布用薬剤2種を用いて幼虫に対する効果を確認した。琉球文化財研究室では首里城の外壁塗装について往時の技法・材料を再現し、正殿の漆塗装へ活用することを目的に調査研究を行った。

3. 普及啓発事業

調査研究で得られた成果の普及啓発として、地域学校と財団が連携した学習活動を実施、海洋博公園をはじめ美ら島自然学校を利用したプログラムにより、施設利用も促進した。

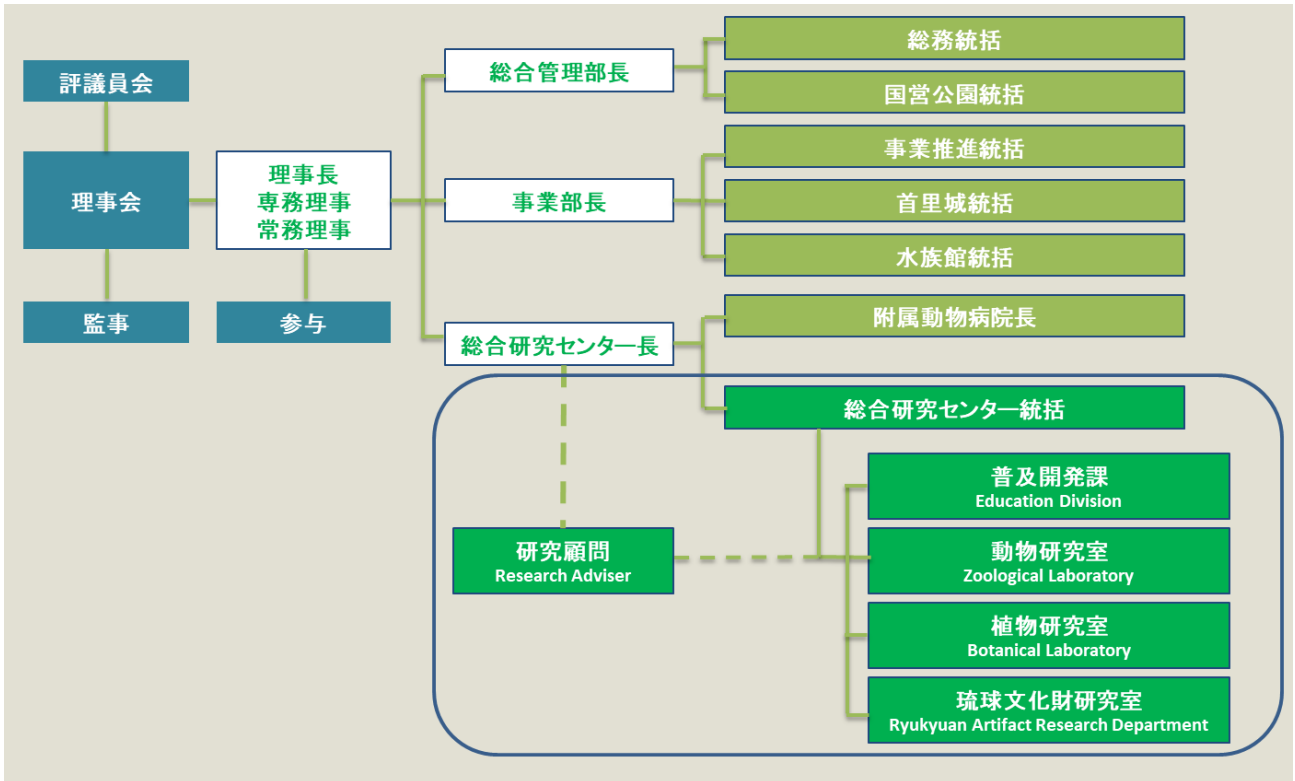
沖縄県立博物館・美術館等では、夏休み特別企画「さがそう！自由研究のタネ」を4日間、自主企画展「スケスケ展—スケると見える仕組みの世界—」を琉球新報社と共催で48日間、奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島の世界自然遺産登録について紹介した「世界自然遺産展」を16日間に渡って開催した。また「世界自然遺産展」開催期間中に、2F講堂で4人の講師による関連講演会を実施した。なお、同館で毎年実施している定期講演会「美ら島再発見～動物、植物、琉球文化から迫る～」についても、定員を半数の100名として開催した。沖縄美ら海水族館における普及活動として、「ザトウクジラ特設展」および「座間味村ザトウクジラ写真展」を開催し、パネルやモニターを用いて研究最先端情報や調査風景、クジラの行動等を展示解説した。

4. 外部評価委員会

今年度実施した調査研究及び普及啓発事業について、令和5年2月に課室ごとの外部評価委員会を開催、55件の事業について、財団参与、及び外部研究顧問より評価、助言を頂いた。亜熱帯性動物調査研究に関しては、幅広い分野の研究が高いレベルで展開されている状況が高く評価された。亜熱帯性植物調査研究では、病虫害防除の調査研究の実用的な効果、応用性に期待する意見があった。海洋文化に関する調査研究、及び首里城等に関する調査研究では、首里城正殿他の復元に関する調査等、また人材育成の事業について評価を頂いた。普及啓発活動においては、予算削減、人員減の中での特別展や講演会を工夫して実施している状況が評価された。各委員の評価及びコメントは、3月10日に実施した事業活動調整会議にて、各委員会の座長により理事長へ報告された。

¹総合研究センター統括

5. (一財) 沖縄美ら島財団の組織図



6. 調査研究・普及啓発事業の目標

産業振興への寄与

有用な海洋生物の繁殖・育成技術の開発、在来動植物の利用開発や熱帯果樹等有用植物の肥培管理技術の確立、観光資源の情報集積・活用により産業振興に寄与する。

環境問題への対応

豊かな自然環境や多様な生態系を維持するため、サンゴ・ウミガメ等の海洋生物やラン類等希少植物の保護・育成、環境緑化等を推進し、生物多様性の保全、地球温暖化等の環境問題に対応する。

公園機能の向上

公園利用者ニーズの把握や満足度の向上、効率的・効果的な管理運営に関する調査、技術開発等により、魅力ある緑地空間を提供。レクリエーションや環境学習、地域連携などや様なニーズに対応した公園の機能向上を図る。

7. 研究顧問（17名）

氏名	所属	役職	専門分野
池田孝之	琉球大学 特定非営利活動法人 沖縄の風景を愛さる会	名誉教授 理事長	都市・地域計画
亀崎直樹	岡山理科大学	教授	ウミガメ生態学
後藤 明	南山大学	教授	文化人類学 民族考古学
須藤健一	堺市立博物館 国立民族学博物館	館長 名誉館長	文化人類学 博物館学
グラント・エイブル	National Marine Mammal Foundation シアトル水族館	研究員 館長	鯨類学
仲谷一宏	北海道大学	名誉教授	サメ類分類学 サメ類生態学
上田善弘	ぎふワールド・ローズガーデン 広島県福山市役所	理事 世界バラ会議推進プロ ジェクトマネージャー	花卉園芸学 植物育種学 園芸文化論
唐澤耕司	長野県高森町蘭植物園	元園長	ラン類 細胞遺伝学
小山鐵夫	高知県立牧野植物園 Hawaii Sakura Foundation B. P. Bishop Museum, Honolulu, U. S. A.	顧問 理事長 Associate	資源植物学 植物分類学 植物園学
佐竹元吉	昭和薬科大学薬用植物園薬用植物資源研究室	研究員	生薬学 天然物化学
高江洲賢文	JA おきなわ農業事業本部ファーマーズ推進部	アドバイザー	作物学 雑草生態学
三位正洋	千葉大学	名誉教授	園芸植物 遺伝子組換 組織培養
安次富順子	安次富順子食文化研究所	所長	琉球王朝の料理 食文化 琉球菓子
喜名盛昭	中国民族音楽研究家		中国民族音楽 御座楽、路次楽
高良倉吉	琉球大学	名誉教授	琉球史 沖縄学
西大八重子	生活文化研究所西大学院	学院長	琉球料理 茶道
宮里正子	沖縄県文化財保護審議会	委員	琉球・東南アジアの 漆芸

8. 各施設の概要

1) 所在地

総合研究センター 沖縄県国頭郡本部町字石川 888 沖縄美ら島財団本部内
 美ら島自然学校 名護市嘉陽 41
 琉球文化財研究室 那覇市首里桃原町 1 丁目 13 番地
 同分室（琉球食文化） 那覇市久茂地 1 丁目 8-8 琉球料理美栄付 琉球食文化研究所内

2) 主な施設・設備等

名称	用途	備考
研究棟	鉄筋コンクリート地上 2 階。動物研究室、植物研究室の事務所、研究室、実験室、標本室等を備える。	地上 2 階 950 m ²
美ら島自然学校	沖縄本島東海岸の調査研究活動拠点、及び一般向け・学校向けの普及啓発事業の拠点として活用。	利用者 11,000 名/年
動物系実験室	DNA 解析、組織切片作成等の機器を備える。	
解剖室	ホイストクレーンを備え、大型動物の解剖にも対応。	
調査用車両	各種フィールド調査に利用。	普通車両 1 台
調査用ドローン	海洋調査、植物分布調査に利用。	陸上用 2 台 水中用 1 台
URM 魚類 標本コレクション	沖縄の魚類研究・教育・展示目的での標本の貸出を実施	約 50,000 点の 魚類標本
植物 標本コレクション	沖縄の植物研究・教育・展示目的での標本の貸出を実施	約 20,000 点の 植物標本
CT 画像診断検査 システム	海洋生物の健康管理に利用されるだけでなく、生物標本や、琉球文化財の非破壊内部調査にも利用。	獣医師および放射線技師が常駐
無菌操作室	無菌環境下で有用植物や希少植物の培養苗作成を実施。	クリーンベンチ 5 台を装備
培養育成室	熱帯果樹（パインアップル等）、ラン類（デンファレ、ファレノプシス等）、観葉植物類（ドラセナ等）の培養株を保持。有用植物の大量増殖、希少種の保全。	約 8,000 株の 培養株
熱帯植物試験圃場	熱帯果樹・花木の試験栽培、都市緑化植物の栽培、野生の絶滅危惧種等の域外保全施設として運用。	約 11,000 株の 栽培株
琉球文化財研究 関連收藏品	県指定有形文化財「白澤之図」、復元漆器「七宝繫密陀絵沈金御供飯」等を収蔵、琉球文化研究・展示に利用。	874 件 (1,492 点)
琉球文化財研究 関連図書	琉球文化、中国文化に関する図書を中心に収集。研究・展示に活用。入手困難な古書も含む。	8,407 冊

9. 総合研究センターの研究スタッフ (33名)

役職	氏名	専門分野	資格	
統括	野中 正法	八放サンゴ類の形態分類学、生態学	博士 (理)	
普及開発課 職員4名 契約職1名	課長	徳武 浩司	鯨類学、希少動物の保全	学芸員
	係長	仲松 由美子	水生動物の教育普及、環境教育	
	主任技師	山本 広美	サンゴ礁生態学	修士 (理)
	主任	国広 潮里	珍無腸動物の分類学、生態学	博士 (理)
	契約職員	板井 英伸	文化人類学、民俗学、民具論	修士 (社会人類)
動物研究室 職員5名 兼任7名	室長・係長	岡 慎一郎	保全生態学・分子生態学	博士 (理)
	上席研究員	佐藤 圭一 (兼)	軟骨魚類学	博士 (水産)
	上席研究員	河津 勲 (兼)	ウミガメ類の繁殖および生態学	博士 (水産)
	上席研究員	植田 啓一 (兼)	小型歯鯨類の臨床獣医学	博士 (獣医)
	上席研究員	松本 瑠偉 (兼)	軟骨魚類 (サメ・エイ類)	博士 (水産)
	主任研究員	松崎 章平 (兼)	淡水魚類生態学、水生生物飼育	学芸員
	主任研究員	宮本 圭	魚類学、動物標本の管理	修士 (水産)
	主任研究員	冨田 武照	形態進化学、機能形態学	博士 (理)
	主任研究員	小林 希実	鯨類生態学、鯨類音響学	博士 (海洋科学)
	研究員	岡部 晴菜	鯨類生態学	
	研究員	中島 愛理 (兼)	繁殖学、水生動物の臨床獣医学	獣医師
	契約職員	笹井 隆秀 (兼)	爬虫類学	修士 (理)
植物研究室 職員7名 兼任1名 契約職2名	室長・係長	阿部 篤志	森林生態学	学芸員
	上席研究員	米倉 浩司	植物分類学、植物地理学	博士 (理)
	上席研究員	峯本 幸哉 (兼)	蔬菜園芸学	修士 (園芸)
	主任研究員	佐藤 裕之	園芸学、育種学	修士 (園芸)
	主任研究員	天野 正晴	植物分類学	修士 (教育)
	主任研究員	辻本 悟志	森林保護学、樹病学	修士 (生命農)
	研究員	野原 敏次	農芸化学	修士 (農)
	研究員	砂川 春樹	蔬菜園芸学、植物生理学	博士 (農)
	契約職員	松原 智子	果樹園芸学、菌根菌	博士 (農)
	契約職員	徳原 憲	植物細胞工学、繁殖学	博士 (農)
琉球文化財 研究室 職員4名 契約職2名	室長	幸喜 淳	民俗学、伝統建造物塗装	修士 (民俗)
	係長	久場 まゆみ	民俗学、年中行事、祭祀組織	修士 (造形)
	主事	宮城 奈々	染織史、織物作家	修士 (人文)
	主事	佐久本 純	琉球古典音楽	修士 (古典音楽)
	契約職員	田丸 尚美	琉球史、近世仏教	修士 (人文)
	契約職員	鶴田 大	日本美術史、東洋美術史	修士 (美術史)

10. 外部資金獲得実績

1) 調査研究費

動物研究室

助成元	研究テーマ	代表者
文部科学省 (日本学術振興会)	サメ胎仔の糞から追う脊椎動物の「授乳」の起源	富田武照
文部科学省 (日本学術振興会)	沖縄海域におけるザトウクジラの保全に向けた繁殖生態の解明	小林希実
文部科学省 (日本学術振興会)	海水温上昇に伴う大型回遊魚の分布域の変化を予測するモデルの構築	渡辺佑基 (分担者：松本瑠偉)
文部科学省 (日本学術振興会)	絶滅危機に瀕する日本産ウミガメ3種のフレンジーの解明と保全に向けた孵卵条件の提示	斉藤知己 (分担者：河津勲)
文部科学省 (日本学術振興会)	健康長寿をもたらす夏眠反応同定とその制御	西山成 (分担者：植田啓一)
文部科学省 (日本学術振興会)	甲殻類最強の把持力を持つヤシガニの3D組織構造と機械的特性	井上忠信 (分担者：岡慎一郎)
環境省 (環境研究総合推進費)	深海大型生物相の環境DNAによるモニタリング法の開発	宮正樹 (分担者：岡慎一郎)
中辻創智社	中深層性魚類における生物蛍光の役割を探る	宮本圭
中辻創智社	小型魚類イソハゼ属の多様化プロセスの解明	花原望
米国海洋大気庁 (NOAA) (SPALSH-2 運営委員会)	北太平洋全域におけるザトウクジラの国際共同研究プロジェクト	小林希実 (副代表：岡部晴菜)
Pacific Whale Foundation	ホエールウォッチング、スイムツアー等の観光産業によるザトウクジラへの影響評価調査	小林希実

植物研究室

助成元	研究テーマ	代表者
文部科学省 (日本学術振興会)	マチン科ホウライカズラ属の環東シナ海地域における種分化と花形態の進化に関する研究	内貴章世 (分担者：天野正晴)
文部科学省 (日本学術振興会)	植物標本データベースを活用した沖縄型学習支援システムの構築	齊藤由紀子 (分担者：天野正晴)
環境省 (生物多様性推進支援事業)	沖縄県内に生育するキバナシユスラン、コウシユンシユスラン、ナンバンカモメランの生息域外保全	天野正晴、佐藤裕之
(公財) 国際花と緑の博覧会記念協会	沖縄の伝統的景観木の新病虫害防除に関する調査研究	辻本悟志
公益信託 宇流麻学術研究助成基金	ギンネムの薬剤防除に関する調査研究	辻本悟志
(公社) 農林水産・食品産業技術振興会	ラッキョウ収集系統の分子分類	砂川春樹
(公社) 農林水産・食品産業技術振興会	メーオーバ種苗資源の保護についての取組	野原敏次

2) 受託調査事業等

植物研究室

発注元	受託業務名
(一財) 自然環境研究センター	令和4年度維管束植物3種の生息域外保全及び野生復帰技術の検討・開発業務
(公社) 日本植物園協会	令和4年度希少野生植物の生息域外保全検討実地委託業務(種子保存)
(公社) 日本植物園協会	令和4年度希少野生植物の生息域外保全検討実地委託業務(種子収集)
(公社) 日本植物園協会	ワシントン条約に基づき任意放棄された植物の保護育成に係る寄託管理業務
(一財) 沖縄県環境科学センター	令和4年度アカギのヨコバイ防除に関する研究
中城村	令和4年度中城村試験圃場栽培指導・研究委託業務

琉球文化財研究室

発注元	受託業務名
沖縄県立博物館・美術館	令和4年度琉球王国文化遺産集積・再興事業基本設計委託業務
(公社) 日本公園緑地協会	令和4年度首里城復元に向けた委員会運営業務に係る補助作業(その3)
株式会社国建	令和4年度首里城復元基金事業制作検討業務
大城織機製作所	令和4年度・5年度「手機機製作」記録作成刊行事業
文化庁	琉球建造物塗装及び古瓦製造伝承者養成事業(補助事業)